



学校だより
ながや

今年度も子どもたちの様子についてホームページを活用してお知らせします。月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。

学校ホームページ

QRコード



「今日は一人で来たんだ」

校長 神田 敏之

朝、門の所で1年生の子どもが話しかけてきました。前の日までは、途中まで保護者の方が送ってきてくれていたのでしょうか。私には、ほこらしげに見えました。

門の所に立っていると捕まえた虫を見せてくれたり、「〇〇が楽しみなんだ」と言ったり話しかけてきます。先日の朝会では、付け足のあいさつについて話しました。「おはようございます」で終わらず、何か一言付け足すということです。昨年この話をしているので、4月初めから「今日はいい天気ですね」などと付け足のあいさつをしている子どももいます。4月の始めは天候不順だったところで、よい天気になったので心の中で思っていたことが思わず口に出たのでしょうか。他にも学援隊の方には、「おはようございます。いつもありがとうございます。」子ども同士でも「おはよう。今日も遊ぼうね。」などとできるように具体的な話をしました。

「自分のリーダー」を働かせること、「一時停止ボタン」を押せるようになること、これは日々いろいろな機会に伝えていることです。誰もが自分の中に「自分のリーダー」をもっています。自分の行動を決めるのは、自分自身です。何か外からの刺激が自分にあっただとします。それに対してすぐに反応するの

ではなく、一時停止ボタンを押してまず次の行動を考えるとすることができるようにしたいと思います。朝会でも一時停止ボタンを押した後、いくつか考えられる行動の中で一番よいものを選ぶように話しました。

刺激に対してすぐに反応するのは自分の意志で行動を決めていないということです。

みなさんも日常生活の中で周りの人の言動に対してイライラすることがあるかもしれません。その時に一時停止ボタンを押してみませんか。

例えば、子どもに早く行動してほしいと思っているのに、なかなか次の行動に移れないという場面があったとします。しかも「早く～をしなさい」と言った言葉に反応できなかったりすぐに行動を移せなかったりするとさらにイライラが募ります。「先にやりたいことがあるのかな」「言い方が悪くて心に入らなかったのかな」「夢中になって聞こえなかったのかな」などと原因を考えていくと、次の言葉かけが変わってくるでしょう。「今していることが終わったら、次に～をしてね」「〇時から～をしたいから、それまでに片づけてね」「先に～してくれると助かるんだけどな」などはいかがでしょうか。

人は怒りを感じたときに6秒過ぎると理性が働くそうです。一時停止ボタンを押せるようになるると怒りをぶつけあうことが減ってくると思います。